

道徳科における 個別最適な学びと協働的な学び

東葛飾教育事務所指導室

道徳科における
「主体的・対話的で深い学び」
「考え議論する道徳」

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習

- 問題意識をもつ
- 自分自身との関わりで考える
- 多面的・多角的に考える
- 自らを振り返る
- 自己の（人間としての）生き方についての考えを深める

個別最適な学びと協働的な学び

学習活動（個別⇒協働⇒個別）

【指導の個別化】

【導入】

○道徳的価値に関わることについて
問題意識をもつ

【展開】

○自分自身との関わりで考える

○多面的・多角的に考える
⇒考えを共有し話し合う

○自己の生き方について考えを深める

【終末】

○道徳的価値についての自己実現に
向けて意欲を高める

自分事



納得解

○自分自身に向きあえる/登場人物に
自我関与できる発問や活動の工夫
○問題意識や立場の違いの見える化
(板書/ICT等の活用)

○考えをもつ/整理する/共有するため
児童・生徒が自ら学習方法を選択
・ICT ・ノート ・ワークシート
・思考ツール 等を用いて
図式化(グラフや表/図)/数値化
記号化/イラスト化/言語化(吹き
出し/キーワード)/色 等で表す

自己実現に向けて学びの蓄積

学習の個性化

自分自身との関わりの中で深める

他者との合意形成や具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく、多面的・多角的な思考を通じて、**道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。**

①他者と
議論する



①「正直、誠実」とは何かについて他者との議論を通して道徳的価値を理解する。

②自己を
見つめる



②自分自身にとって「正直、誠実」は、何を大切にするかを改めて自己を見つめ整理し、端末に考えを表記する。

③教師が
把握する



③教師が端末に入力されたそれぞれの考えを把握・整理し、全体に共有する。

④全体に
紹介する



④子供の考えを全体に紹介する。

※人前で話すことが苦手な児童生徒も考えを示すことが可能となる。

※青字が端末の活用を想定

多面的・多角的に考える

「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、
自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考える。

①自分の
考えを
もつ



①「規則の尊重」と「親切、思いやり」との、いずれの立場を重視するかについて自分の考えを選択し端末に入力する。

②他者の
考えを
知る



②端末で他者の考えを知る。

③他者と
議論する



③相互の考えについて根拠に基づき、議論する。

④全体で
共有する



④端末に入力した全体の考えを共有し、振り返る中で考えを深める。

※互いの考えを伝え合ったり、相手の思いを受け止めて話し合ったりすることができる支持的な学級風土が重要となる。

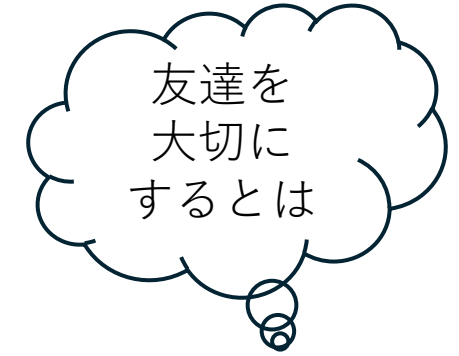
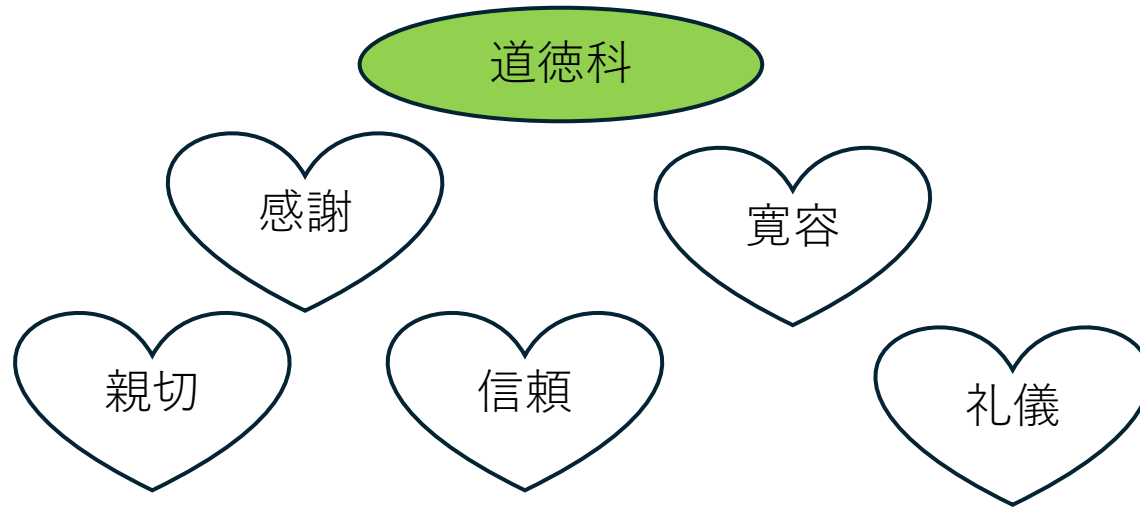
※青字が端末の活用を想定

参照 文部科学省資料

目指す児童・生徒の姿



なりたい
自分



自己実現
自立した人間

他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う

道徳的価値（内容項目）
とのつながりを意識

各教科・領域

学校行事



道徳教育



よりよい生き方を模索していく

参照
道徳授業の個別最適な学びと協働的な学び
明治図書